

スーグラ[®]錠 を 服薬される患者さんへ

医薬品リスク管理計画
(RMP)

監修：永寿総合病院 糖尿病臨床研究センター長 渥美 義仁 先生

スーグラ[®]錠は、血液中の過剰な糖を尿といっしょに排出させることで、血糖値を下げるお薬です。

糖が排出される時、より多くの水分が尿として出ていくため、脱水などに注意が必要です。



スーグラ[®]錠は、1日1回、朝食の前か後に、50mgを飲んでください。

1型糖尿病の方は必ずインスリン製剤と併用してください。

医師の判断により、効果不十分な患者さんには100mg 1日1回まで増量する場合があります。また、肝機能に重度の障害のある患者さんには、低用量(25mg 1日1回)から投与を開始する場合があります。

スーグラ[®]錠を飲むときの注意

- 服薬の時間や方法、服薬する量は、医師の指示に従ってください。
- 自分の判断で変更すると、スーグラ[®]錠の効果がかわったり、副作用が起こる危険があります。
- 自分の判断では服薬を中止せず、医師の指示に従って服薬してください。
- スーグラ[®]錠はインスリン製剤に代わるものではありません。1型糖尿病の方はインスリン製剤を中止しないでください。



飲み忘れた
場合は？

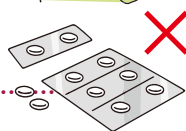
翌日の朝に、1回分を飲んでください。

❗ 絶対に2回分を一度に
飲んではいけません。



誤って多く
飲んだ場合は？

医師または薬剤師に
相談してください。



病気のときは？

下痢・嘔吐をくり返したり、食欲不振で
食事や水分をとれないことが続くような場合は、
スーグラ[®]錠の服薬は中止してください。

低血糖の症状にご注意ください。 1型

他の血糖降下薬と同様に、低血糖を起こす可能性があります。特に1型糖尿病の方では、強化インスリン療法により低血糖を起こしやすいことが報告されています。症状がみられたらすぐにブドウ糖5～10gを摂取するか、砂糖を10～20g、またはジュースなどの糖分を多く含む飲み物を摂取してください。



ケトアシドーシスにご注意ください。 1型

スーグラ®錠の作用により、体内のケトン体が増加し、ケトアシドーシスに至ることがあります。特に1型糖尿病の方では、**インスリン製剤を投与できなかった場合にケトアシドーシスを起こしやすいことが報告されていますので、ご自身の判断でインスリン製剤を中止しないでください。**ケトアシドーシスの初期症状(吐き気・嘔吐、食欲減退、腹痛、異常な口の渇き、体の疲労感、呼吸困難、意識がもうろうとするなど)を感じたら、すぐに医師に相談してください。



※高血糖がみられないケトアシドーシスがあることにも注意が必要です。

血糖値だけで判断せず、測定が可能な場合はただちに血中または尿中ケトン体を測定してください。(正確な診断には血中ケトン体測定が必要です)



脱水にご注意ください。

スーグラ®錠の作用により、排尿の回数や、尿の量が増えて脱水症状を起こすおそれがあります。特にスーグラ®錠の飲み始めの時期や汗をかいて水分を失いやすい夏場にはこまめな水分補給を心がけましょう。

トイレの回数が多い、尿の量が多い、のどが渇く・口が渇く、体の疲労感、めまい・ふらつきなどの症状を感じたら、医師に相談してください。

高齢の方、利尿剤を服薬している方や血糖値が非常に高い方は特に注意が必要です。

※スポーツドリンクなど糖分を含む飲み物は、血糖値を上昇させてしまうので避けましょう。



尿路感染症、性器感染症にご注意ください。

膀胱炎や、陰部のかゆみ・炎症などが起こる可能性があります。毎日お風呂に入るなど体を清潔に保ち、尿や体に異常(頻尿、排尿痛、陰部のかゆみや違和感など)を感じたら、すぐに医師に相談してください。



食事療法、運動療法は、医師の指示に従ってください。

不規則な食事や過度の食事制限、激しい運動は低血糖を起こす可能性がありますので、行わないようにしてください。



体重の減少がみられることがあります。

1～2kg前後の体重減少がみられることがあります。



発疹や蕁麻疹などがみられることがあります。

皮膚に異常を感じたら、医師に早めに相談してください。

